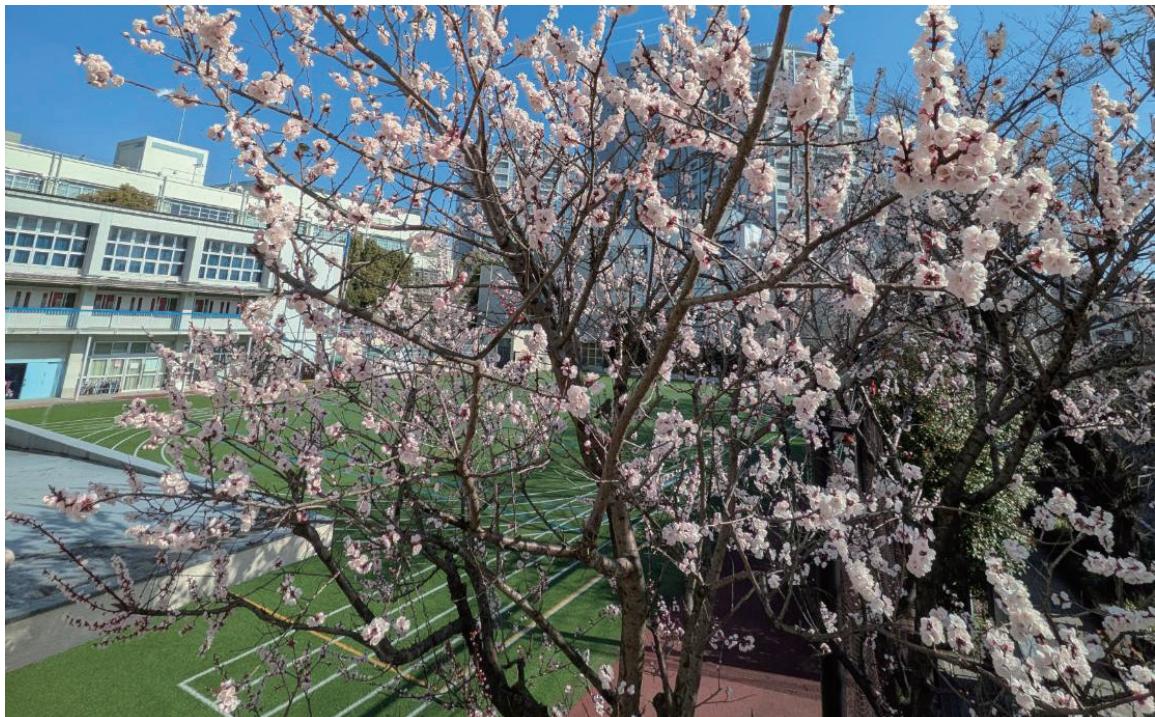


文京区の人と地域をつなぐ情報誌

# 第八号



文京区立駕籠町小学校

## 文京人インタビュー

# 演劇サークル ブレーメンさんに聴く

## 涙と笑いの舞台をあなたへ

まずはブレーメンについて  
教えてください

橋本勇一 60年ほど前に文京区役所の職員が演劇サークルとして始めました。グ

リム童話の「ブレーメンの音楽隊」から名付けたようで、仲間たちが協力し合い、困難を乗り越えるというところに共感したのでしようか。

現在、メンバーは10名ほど所属していますが、年1回の公演に出演するのは数名で、メンバー以外に客

演や照明・音響など外部の方々にお願いしています。以前は職場に関するテーマが多くたのですが、最近では、色々な事を題材にした芝居をやっています。

お二人が演劇を始めたきっかけは

橋本 学生時代に演劇の経験は全くありませんでした。15年ほど前に「ブレーメンの公演をみて面白そだなと、すぐに参加しました。

小林真命 私も演劇の経験はありませんでした。勤め始めてから昼休みをみて面白そだなと、すぐに参加しました。



**小林** 脚本家になりたいわけではなくて、ブレーメンのためにできることをいつも考えています。以前は既存の脚本を使っていたのですが、メンバー全員が出演できる作品をと思って、なかなか合うものが見つからなくて。だったら皆で出られる脚本をつくっちゃえばいいじゃん、と軽い気持ちで3年前から自分で書くよ

**橋本** 脚本も書かれているのですよね



この日は2月の公演「ふあみこん」の稽古の様子

うになりました。学生時代に小説は書いていたのですが、脚本は初めての経験です。シナリオは基本的に一人で考えます。公演が終わってから次回の脚本を書き始め、次回参加が可能な人数などに合わせて、稽古の始まる期間までに書き上げて、最終的には演出の橋本さんに見てもらいます。

**橋本** 台詞はどうやって覚えるのですか

**橋本** 私は台本をひたすら読んで覚えます。台詞を紙に書くことで覚える役者もあります。人それぞれですね。

**小林** 私は家では台本を開きません。基本的には稽古場で台詞をしゃべりながら覚えます。自分で書いた台詞なので、ちょっと恥ずかしいこともありますね。

**橋本** 練習時間はどのくらいですか

活動を始めて変わった点はありますか

**橋本** 交流関係がひろがりました。  
**小林** 「家にいないね」と子どもたちには



徐々に稽古のボルテージが高まっていく

向けて、定時後や土日に区の施設を借りて練習しています。台本が8月末に完成してから週に2～3回、3時間くらい練習して、公演に臨みます。立稽古に入る前に、発声練習や柔軟体操などもします。

**橋本** 今は、令和7年2月10日の公演に

『言われますが、楽しんでいる母親をみて喜んでいるようです。

## 印象に残っているエピソードと演劇の魅力をお願いします

2月の公演「ふあみこん」の舞台シーン



**橋本** 舞台上ではハプニングが起っこることもありますが、それを即興で乗り越える緊張感や瞬間の妙が演劇特有の魅力です。例えば私は本番中に転んで出血してしまいましたが、痛みを隠して最後まで舞台を務めたことがあります。また、本番前日に出演予定者が倒れてしまい、急遽、本番当日にプレ公演という形で公演を行ったこともあります。演劇は一人で成り立つものではなく、脚本家、演出家、演者、照明、音響、美術など、多くの人々の協力が必要です。この過程で強い絆や信頼関係が生まれるのも魅力のひとつです。

**小林** 芝居が終わった後のカーテンコールで舞台から客席を見たら、感激して泣いている人がいて、こちらも泣きそうにす。

2月の公演「ふあみこん」の舞台シーン



なりました。観ているうちに登場人物の喜びや悲しみを共有し、自分自身の感情と重ねることで感極ましたのだとしたら嬉しいです。一方で私たち演者も観客の反応を感じながら演技を深めていきます。このようなお客様との気持ちの共有や共鳴も、お芝居の魅力ですね。

## 演劇は地域に根差した活動とも相性が良く、文化交流や地域活性化の場としても役立ちますよね

**小林** 地域に根ざした活動をしたいといふ先輩たちの思いを受けて、文京シビックセンターの近くにある都立工芸高校の先生に協力をお願いに行きました。ものづくりの学校にとつて職業体験ができるということで良い関係が続いています。ちらしデザインのコンペを企画したり、今はパンフレットや写真撮影もお願いしています。さらに関係が広がればよいと思っています。さらに関係が広がればよいと思っています。

**橋本** 年に1回文京シビックホールで無料公演をしていきますので、ぜひ観に来てください。興味を持った人は一緒にやりましょう。観るだけでなく演じたり、スタッフとして関わることで、演劇の深い魅力を体験してみてください。文京区役所に勤めていない人でも参加できます。

## 最後に読者へのメッセージをお願いいたします

当然無料公演なのでチケットノルマとかありません（笑）。  
**小林** 少しでも多くの区民の方々に観に来てほしいです。また文京区の文化事業として、文京区には演劇にもう少し力を入れていただけないと区民である私としては嬉しいです。



### 演劇サークル ブレーメン

[https://x.com/i/flow/login?redirect\\_after\\_login=%2FBremen\\_actors](https://x.com/i/flow/login?redirect_after_login=%2FBremen_actors)





Bar

## うなばら

湯島

マイスター  
バーテンダー 中野 文博さん老舗バーが紡ぐ  
カクテルと人生の物語

「いう国だあ」と思ったそうです。ミヤコレストランでも兼業し、日本のサラリーマンの4倍位の収入がありました。そうして貯めた資金で、半年後にカナダのナイアガラ見物、1年後にはルクセングブルグ行き飛行機に乗りこみました。アメリカはビザのため6か月ごとに出国する必要があったのです。

ヨーロッパでは、ユーレイルパスとい

う鉄道90日間乗り放題の切符を買い、寝台車に乗つてホテル代を浮かしながら各

国をぐるっと巡り、ニューヨークに戻りました。

それから半年後の出国では、北欧を通つてソ連に入り、シベリア鉄道で東に向かいナホトカ港から船に乗つて、2年ぶりに日本に帰つてきました。すごい世

就職したサンフランシスコの店では、カクテルを作るのがブレンダーマシンで物足りなく、シェーカーが振りたくて半年後には本場ニューヨークを目指したそ

うです。

グレートハウンドバスのバスを買い、3日半かけて大陸を横断し、到着した

ニューヨークのサイトーレストランに採用されたものの、「4名のバーテンダーの中で一番働いているのに給料が安い」とボーカー（住込みの家事手伝い）をしながら語学学校やカクテル学校に通いました。「アメリカって、こう

卒業後すぐ貯金をドルに換えアメリカ行きの船に単身乗込み、2週間後に到着したサンフランシスコでは、スクールボーカー（住込みの家事手伝い）をしながら語学学校やカクテル学校に通いました。



三楽オーシャンのグロリア  
アオーシャンシップボトルを見せていただいた

シェーカーの前に置かれたマスター手書きのおすすめカクテルのメニュー

洋おすすめカクテル  
ミントジュリップ  
モヒート  
白梅、紅梅、自菊 各 ¥800円

シングルモルトのウイスキーをはじめ、幅広いドリンクが揃つており、一つひとつが丁寧に作られ、バー初心者から愛好家まで満足できる内容です。中野氏

学生時代に知り合いアメリカ修行中待つていてくれた女性と帰国後すぐ結婚し、やがて今の店に落ち着いたそうです。

ちなみに中野氏よりお酒が強いとか。

このお店は、カウンター7席・テーブル10席とコンパクトで雰囲気も良く、一人飲みにも、友人との語らいにもよいですね。

が考案した『白梅』は焼酎とすだちを使つた和風マルガリータで、爽やかな味わいが評価され日本バーテンダー協会のコンテストで1位を受賞しました。同3位の『紅梅』は仙台銘菓の九重を使用しており、こちらも人気です。

つまりは中野氏の手作り、キリッとした醤油味の煮込みが名物です。胡椒を効かせたレンコンのきんぴらをササッと作つて出してくれたりと、スナックのよ

うな居心地のよさもあります。  
一般にバーは敷居が高いイメージがありますが「少しでも多くの人にカクテルの魅力を知つてもらいたいので、うちでは800円均一です。上野公園の桜フェスタでは屋台Barとして500円均一で楽しんでもらっています」そう、祭が大好きで、土日には店を閉めてあちこちの祭で神輿を担ぐそうです。

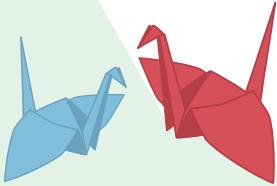
カクテルの魅力について尋ねると「一つの味ではなく色々ミックスされて、人生みたいに面白いです」と笑顔で答えてくれました。



**Bar うなばら**  
〒113-0034  
文京区湯島3丁目38-3  
まつばビル2F 定休日：毎週日曜日  
📞 03-3831-6677



昔あそびでみんながつながるイベント



# “クレエ・デ・リアンに 行ってきました！”



2025年1月25日（土）、文京総合

福祉センター1階で「クレエ・デ・リアン」という無料イベントが開催されると

聞き、取材にお邪魔しました。

会場に到着して最初に目についたのが、大鍋でホカホカと湯気を立てている豚汁と、香ばしい醤油の香りを漂わせている手焼きせんべい。まずは腹ごしらえをしてから、会場の様子を見学します。

## 駐

車場スペースには、輪投げ、ボッチャ、けん玉で遊べるコーナーが。

輪投げコーナーは、小さな子どもは少し近い場所から投げてもOKのおまけルールがあり、車椅子で来場した人も楽しそうにプレーしていました。ボッチャは、重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目にもなっています。白いボールを1つ投げた後、カラーボールを3つ、白いボールができるだけ近くに投げるという簡易ルールで行われていましたが、実際やつてみると意外と難しかったです。

も

つと苦戦したのは、けん玉。障がい者のボランティアスタッフさんがお手本プレイを見せてくれましたが、けん玉にさわるのは数十年ぶりなので、



とん汁  
召し上がり～





教えてもらいながら切り絵



おてだまは  
歌に合わせて



まったく勘がつかめません。大皿の上に玉を乗せる簡単な技を何とかクリアして、屋内の会場に移動しました。

## 屋

内会場には、お手玉、あやとり、切り絵コーナーでは、友禅和紙を使って、干支にちなんだ巳のデザインのカドを作ります。ここでも、障がい者のボランティアスタッフさんが子どもたちに作品づくりの指導をしてくれていました。

## 力

神殿のような大作に挑戦していた男の子は、あと一步のところで崩れてしまい、スマホで撮影していたお母さんともども「ああー!!」とガッカリ。でも、めげずに再トライしていました。

手玉、あやとりコーナーも、なかなかの人気です。子どもたちはもちろん、一緒に来場した親御さんたちが、

久しぶりにさわるお手玉やあやとり紐に「あれ? どうやるんだつけ?」と戸惑いつつもやり方を思い出し、親子で一緒に楽しんでいる様子が印象的でした。

**屋** 内会場の入り口には、『文京人』第5号で紹介した「NPO法人地縁の輪」の養蜂グループがブースを出していました。2024年5月と6月、8月に採取されたハチミツと、みつろうで作った松ぼっくり形のキャンドルを販売。



香ばしい醤油の香り! 焼きたせんべい

フードエリアで  
いただきま~す



大人には懐かしい駄菓子がいっぱい



お楽しみ券当たるかな~ワクワクガチャ回し!

ハチミツを試食させていただいたところ、採取時期によって色や香り、味が微妙に違い、自然の恵みの面白さと奥深さを実感できました。

## 昔遊びを楽しんだ後は 駄菓子屋でお買い物体験♪



今回のイベントは、来場者に遊びを体験してもらうだけでなく、もう1つ仕掛けがあります。

それは、スタンプラリー。各ブースで遊びに参加するとカードにスタンプを1つ押してもらえ、スタンプを4つ集めてガチャガチャコーナーでガチャを回すと、中には「お楽しみ金券」が入っています。

もたちで人だかりができていて、駄菓子屋を覗いてみると、中は大混雑。みんな真剣な表情で、思い思いで駄菓子を選んでいます。

## 2歳の弟と一緒に駄菓子屋から

2歳の弟と一緒に駄菓子屋から出てきたレオ君（6歳）に話を聞くと、「今日はいろんな遊びができる、お菓子もたくさん買えて、楽しかった！」と、大満足の様子。お店の外で待っていたご両親も「寒いので豚汁の温かさが身に沁みました。駄菓子屋さんの雰囲気も懐かしいですね」と、笑顔で答えてくれました。

その後の金券を持って近くの「PLACE SUIDO-2」に設けられた駄菓子屋に行くと、金券の金額分の駄菓子を購入できるのです。

令和キッズにも、平成・昭和世代の大人にとつても思い出深いですね」と、笑顔で答えてくれました。



けん玉名人の  
スタッフ

終了後、今回のイベントを主催したり

アン文京の野村美奈施設長にお話を伺いました。

——「クレエ・デ・リアン」とは、どんな意味ですか？

「リアン」はフランス語で「絆、つながり」を意味し、「クレエ・デ・リアン」は「つながり（絆）を創る」という意味。サン・テグジュベリの小説『星の王子さま』の一節にもある言葉です。

文京総合福祉センターは、地域の高齢者、障がい者、子育て支援のサービスを行っており、入所・通所、就労、余暇活動などさまざまな形で、児童から高齢者まで幅広い世代の障がい者の方々が利用されています。そんな中、私たちスタッフや利用者の皆さんとの間で「施設の外に出て、地域の人々と一緒に楽しい活動をして、街のいろいろな人たちともっとつながりを深めたい」という機運が高まつていったのです。

そうして2018年から始めたのが、

「クレエ・デ・リアン」という音楽イベントです。楽器演奏や歌、ダンスが得意な障がい者メンバーが企業や高齢者施設を訪問し、参加者と一緒にライブを作り上げるイベントで、好評をいたしました。ところが、コロナ禍以降、外に出ていく活動は中断せざるを得なくなってしまいました。

——今回が、約5年ぶりの再開となつたわけですね。

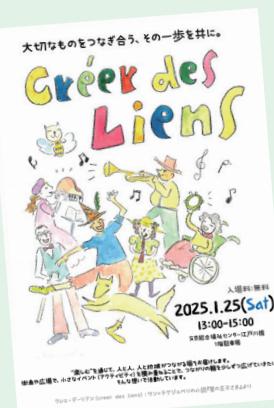
はい。今回は「あそび」で人々がつながることをテーマにイベントを開催しました。大人には懐かしい、子どもには新鮮な昔あそびを軸に、みんながつながれるといいなど考えたのです。けん玉や切り絵、ブースでは障がい者の方がインストラクターを務め、駄菓子屋では障がい当事者ボランティアグループ「B e - r i n」（ビーリン）のメンバーが接客をしています。豚汁は、普段アリアン文京で給食を手がける栄養士さんが

腕を振るつてくれました。

——イベントを終えての感想は、いかがですか？

当初の予想を超える300名以上の来場者があり、とても嬉しく思っています。障がい者にとっては、来場者のお世話をし、街のいろいろな人と交流できること自体が大きな喜びです。地域の子どもたちにとっても、障がいのある人と接することは一つの社会経験となるでしょう。イベ

ント内容は変わるかもしれませんが、今後も「クレエ・デ・リアン」の名前で、街のいろいろな人たちが「楽しいこと」で出会つて交流するイベントを企画していきたいと考えていますので、ぜひ遊びにきてください。



イベント告知チラシ

文京区千石にある駕籠町小学校は大正11年東京市駕籠町尋常小学校として創立され、空襲などを経て、昭和33年に駕籠町小学校として新たに開校されました。

「駕籠町」という地名の由来は江戸幕府まで遡り将軍専用の駕籠を担ぐ人にこの地を与え居住させたと言われています。

六義園も近く歴史あるエリアです。



小学校は駒込警察署、ショッピングセンター、東洋文庫ミュージアムなどの施設がある大通りから少し小道に入った場所にあります。桜の季節は正門近くを歩くのが楽しみです。

## Café Tweedia

〒112-0013 文京区音羽1-2-18 1階  
TEL:090-7555-0866



地域のだれもが気軽に立ち寄れる場所です。  
コーヒーやジュースなど400円程度  
インスタ始めました!



## 広告募集

文京人に  
広告を掲載しませんか

詳細は編集部までメールで  
お問い合わせください。

文京区の人と地域をつなぐ情報誌

### 文京人（ぶんきょうじん）第八号

題字；上村正子

企画編集『文京人』編集部

発行：NPO法人 地縁の輪

発行日：2025年5月31日



お問い合わせ先：

社会福祉法人武蔵野会

文京福祉センター江戸川橋

電話：03-5940-2901

edogawabashi@team-lien.com

**無断転載禁止**

## 職員募集

リアン文京は多世代の方に  
ご利用いただく福祉の  
都市型複合施設です。  
ご利用者と笑顔になれる職場で  
一緒に働いてみませんか？  
ぜひお問合せください。

リアン文京は、  
NPO法人地縁の輪と一緒に  
文京の地域に貢献していきます。



社会福祉法人武蔵野会 リアン文京

〒112-0006 文京区小日向2-16-15 ☎ 03-5940-2822 📩 03-5940-2823  
担当：野村・渡部 <https://team-lien.com>